

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture -

## 音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案 「作家による作品説明」

2008年1月18日(金)～2008年4月8日(火) 関連URL <http://obusecontemporary.com/html/p06.html>  
<http://obusecontemporary.com/html/archives38.html>

期日：3月29日(土曜日)午後1時より  
 於：千曲川ミュージアム企画展示室

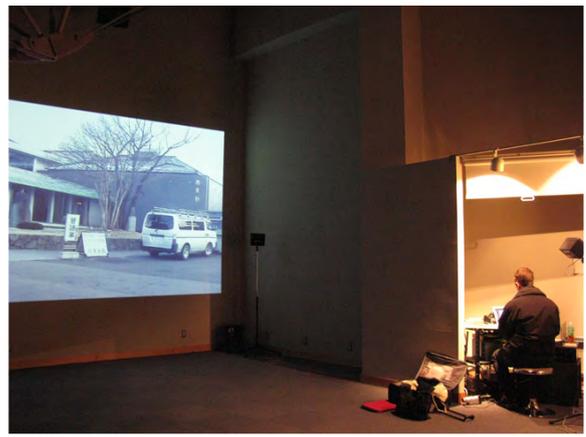
芸術作品の帰結(在るべき場所)は、画廊・美術館ではなく、社会的に機能し、社会に貢献すべきであると考え、企画参加作家は、作品の最終形態を千曲川ハイウェイミュージアムという箱から離れることを前提に、小布施という場所・環境のリサーチから制作を取り組み、小布施町という環境にいかにかフィットさせるかという問いを前提として作品制作を行いました。

つきましては、作家両氏より、作品説明を行っていただきます。  
 主催者側は勿論、観客の方にも、公開いたしますので、お気軽に足をお運びください。

音響作家のクリストフ・シャルル氏は、2007年7月に小布施にて環境探索及び環境音のサンプリングをしていただき、小布施の街路に流れる循環の楽曲を設置するという、音響のパブリックアートとして、その楽曲と設置計画の詳細を展示・提案しています。作家の示す「静寂もしくは空間を表現するための音」が、小布施という街路で、街の鼓動のように律動する環境作品を提案しています。

彫刻家の藤井浩一朗氏の、小布施町の調査から構想される今回のプランニングでは、澄み渡った大気と街並が、作品自体のミラー曲面に映り込みながら環境に溶ける設置計画の幾つかを展開しています。

この新しい作品の実現は、自らの造形を誇示するというよりも、移動する人波と季節の変化を柔らかく映し出し、時には雨に濡れ、雪を乗せて、歴史と記憶の町づくりをなされている小布施の今と未来をあるがままに見つめられる環境を提案しています。



vol.6 Environmental forming by sound and sculpture

オブセコンテンポラリー

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム  
 CONTEMPORARY ART PROJECT 2008

長野県上高井郡小布施町大字大島 TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611  
 E-mail: info@obusecontemporary.com (お問い合わせ一般)  
 E-mail: system@obusecontemporary.com (サイトに関するお問い合わせ)



千曲川ハイウェイミュージアム 企画展示室

2008年1月18日(金) - 2008年4月8日(火)

開館時間 / 9:00 - 17:00 (会期中無休)  
 入館料 : 大人 ¥300 · 高校生 ¥150 · 中学生以下無料

■上信越自動車道 / おぶせスマートインターより0分 (ETC装着車のみ)  
 信州中野ICより車で10分 ■長野電鉄 / 長野→小布施間 30分 小布施駅より徒歩20分  
 (町内周遊シャトルバス有り / 地図上——のライン) / 日券: 300円 / 3月~12月の土 日 祝日+行楽期の平日運行

